

墨田区議会だより

第 28 号

発行 昭和56年10月20日
 発行所 墨田区議会事務局
 〒130 墨田区横綱一の6-1
 電話 626-3151(大代表)

第三回定例会

両国に待望の児童遊園ができる

補正予算に都交通局跡地の造成費

墨田区議会では、第三回定例会を去る九月十八日から三十日までの十三日間わたって開きました。今定例会では、四名の議員が、行政改革を中心とした一般質問を行ったほか、「心身障害者福祉手当条例」の一部改正など八件の議案と二件の決算、九件の請願・陳情を審議しました。そして、議案八件と請願三件を議決したほか、五十五年度一般会計、国民健康保険特別会計各歳入歳出決算を特別委員会を設置し、審査を付託しました。

本会議第一日の十八日には、自由民主党、公明党、日本共産党、新自由クラブの四党派から

それぞれ一名ずつの議員が出て一般質問を行いました。(二面参照) ここでは、「行政改革

に關連した墨田区の事務事業見直しについて」、「区内の河川での魚つり事故防止について」など区政に關連した様々な質問を行いました。そして、それぞれに対して、区長から答弁がありました。

また、昨年の議会で請願が採択され、地元の町会長からも強く要望されていた墨田五丁目遊び場造成費と、同じくこの三月議会で採択された請願の両国四丁目都交通局跡地に児童遊園を造成するための費用などを内容

五十五年度各会計決算提出される

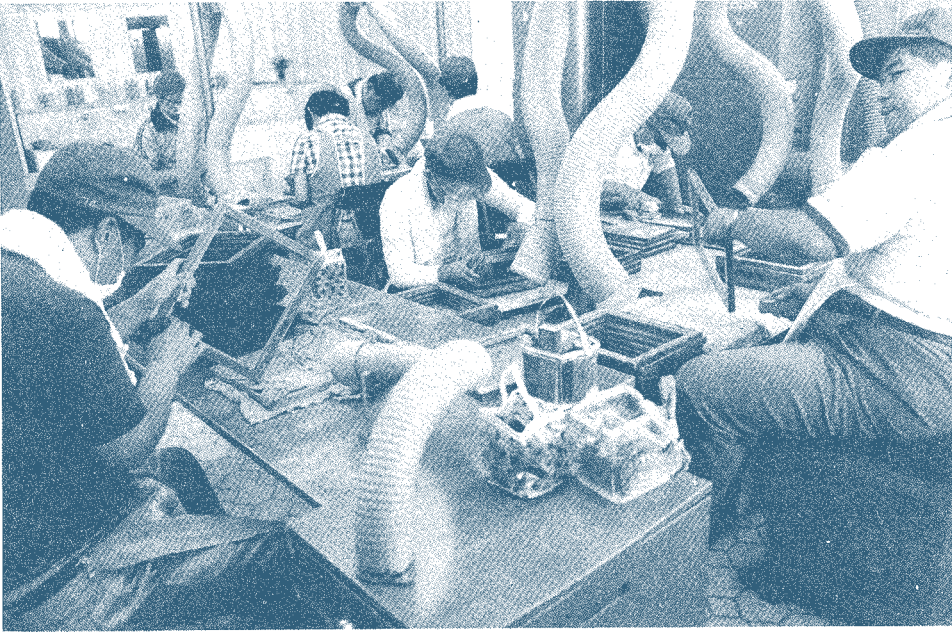
特別委員会で審査

昭和五十五年度墨田区一般会計歳入歳出決算と国民健康保険特別会計歳入歳出決算が、今定例会最終日の九月三十日の本会議に、区長から提出されました。

◎ 決算特別委員会委員名簿

- ◎委員長 ○副委員長
- ◎柴田 来治 ○牛山れい子
- 加藤 耕造 足達 寿一
- 佐藤 四郎 渡辺 良
- 早川 幸一 原田 裕
- 大和久常雄 蘭田 隆明
- 武ノ内啓次郎 柴田 昌男
- 原 正義 湯本 令二
- 梶 勲 矢口甲子夫
- 樋口 文吉 桑名梅佐久
- 島村 福蔵 吉田武三郎

墨田福祉作業所(心身障害者通所施設)で研磨作業に汗を流す人たち



児童保育クラブの設置を

請願・陳情の審査結果

今回の定例会では、みなさんから出された九件の請願・陳情を委員会で審査しました。その内、去年の第三回定例会から継続審査になっていた「立花地区への大型店舗進出反対に関する請願」など三件について結論を出し、「記帳義務法制化反対に関する請願」など六件は、今回結論が出ず、継続審査となり、三十日の本会議で審査報告通り決定しました。

◎ 採択としたもの

◇学童保育クラブの設置等に關する請願

◇採択としたもの

◇不採択としたもの

◇立花地区への大型店舗進出反対に関する請願

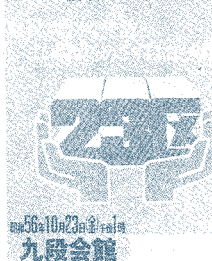
◇市街地再開発事業による大

特別区に「市」並みの権限と財源を

大会で住民代表も意見発表

今年の「特別区自治権・財権拡充大会」は、二十三特別区議会の主催により、来る十月二十三日午後一時から、九段会館で開かれます。二十三区の区長は公選制が実現し、都からも事務事業の移管が行われて、特別区も形の上ではやっとなり「市」並みとなりました。しかし、裏付けとなる財源については、固定資産税、法人住民税などを都が徴収し、都区財政調整制度によって都区間で配分する仕組みになっているため、独自の財源は特別区民税などわずかしかなかった。また、学校建設などに伴う国の補助額も低いために、超過負担の問題も依然として起きています。

特別区自治権・財権拡充大会 23特別区議会



こうして特別区の共通の悩みを解決し、地域の実態に合ったきめ細かい住民サービスを行っていくためには、現在の行財政制度を改正する必要があります。

藤田さんからは、住民の立場から、防災対策をさらに一層充実させるよう、国や都に対し強く訴えていただくことになっていきます。

また、墨田区議会では、今大会の住民代表として意見発表をしていただく人に、墨田五丁目にお住まいの藤田昌平さんを選びました。

◆国民健康保険料値上げ反対に関する請願 (理由) 趣旨にそうことは困難である。

◆国民健康保険料値上げ反対に関する請願 (理由) 趣旨にそうことは困難である。

第三回定例会

会議開会状況

第3回定例会中に開かれた会議は次のとおりです。

9 月	開会	閉会
18日	議員会	議員会
22日	建設委員会	建設委員会
24日	厚生文教委員会	厚生文教委員会
25日	区民衛生委員会	区民衛生委員会
28日	総務委員会	総務委員会
30日	議員会	議員会

